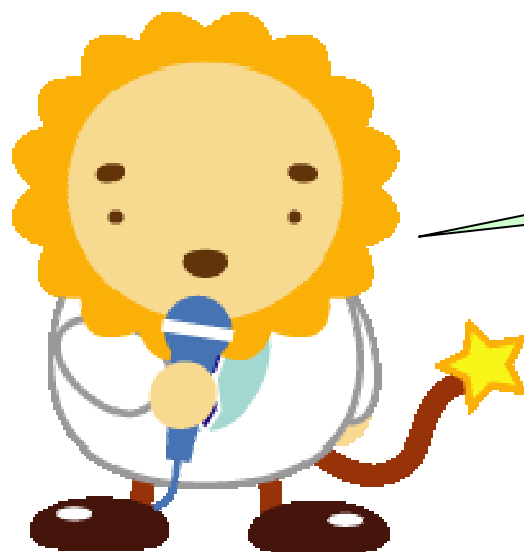


オンライン請求の現状

埼玉県医師会 委員会



ORCAユーザの場合、レセ電算化は急速に進んでいる。しかし、オンライン請求はこれからである。加算や補助制度の支援策が必要である。

2009年2月12日

ラジエンスウェア株式会社

埼玉県児玉郡上里町堤 696-7

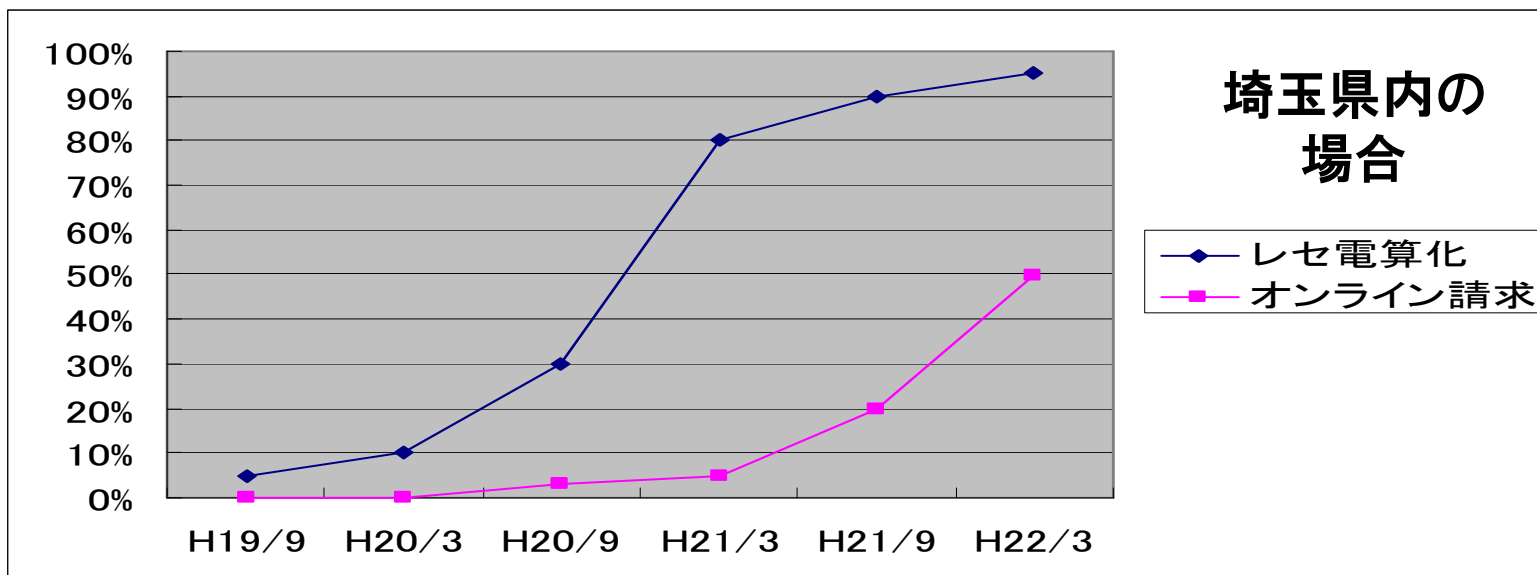
代表取締役 中嶋吉男

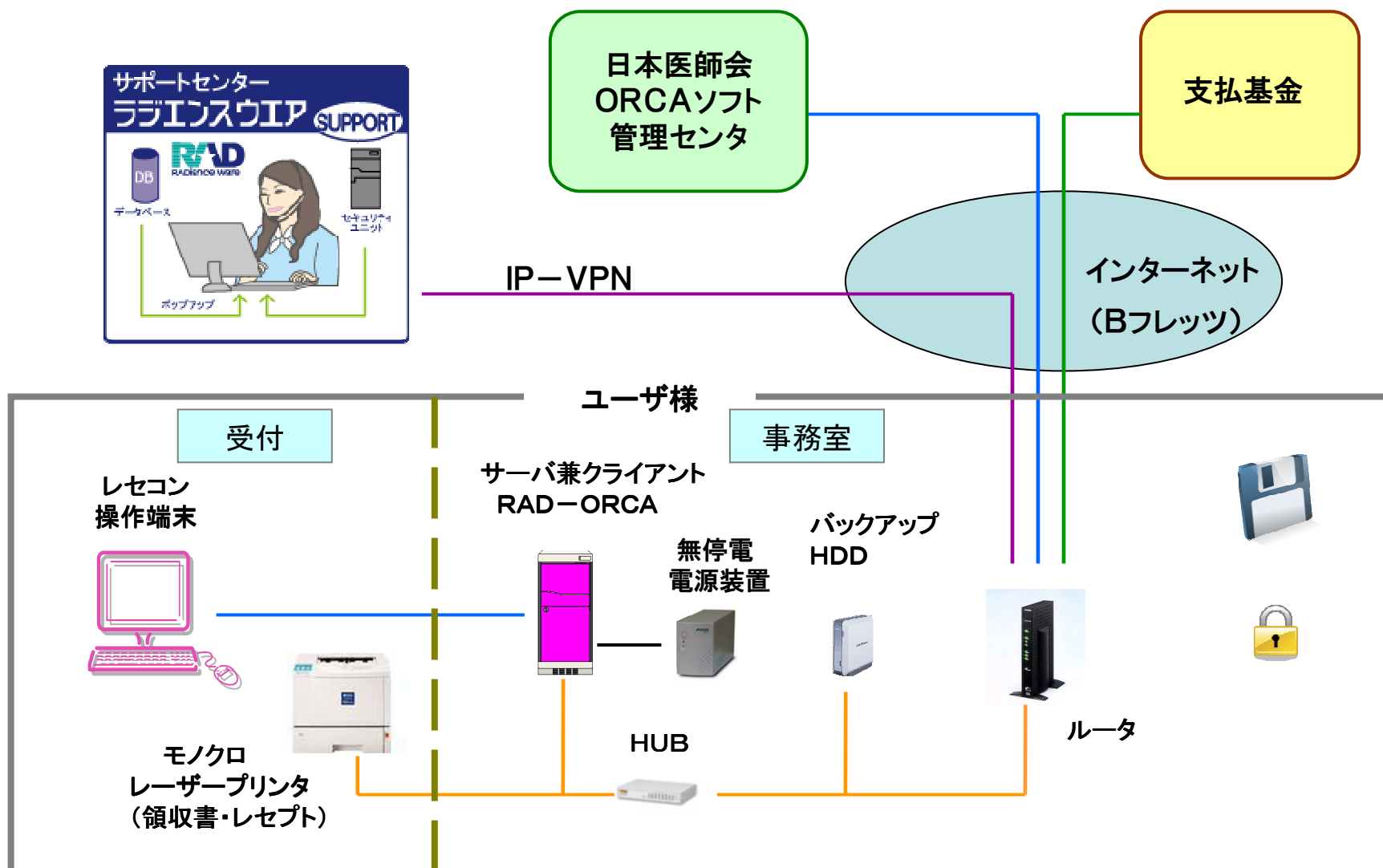
TEL 0495-35-0081

FAX 0495-35-0075

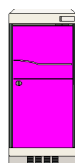
<診療所の場合>

全国	98,000施設	⇒	7,200施設(7%)
埼玉県全域	3,800施設	⇒	195施設(5%)
レセ電算化	195施設	⇒	140施設(75%)
オンライン請求	195施設	⇒	5施設(3%)
準備中 15施設(合計10%)			





<ハード費用>



+

<レセコン導入支援費用>

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| ①ソフトインストール | ②マスター入力 | ③コードセットアップ |
| ④公費セット | ⑤スタッフ教習 | ⑥運用立会い |
| ⑦機器設置、配線工事 | ⑧インターネット申し込み | ⑨セキュリティ確認 |

100万円

<レセ電算化支援費用>

- | | | |
|---------|------------|--------|
| ①認定書作成 | ②マスタセットアップ | ③傷病名点検 |
| ④スタッフ教習 | ⑤本運用手続き | |

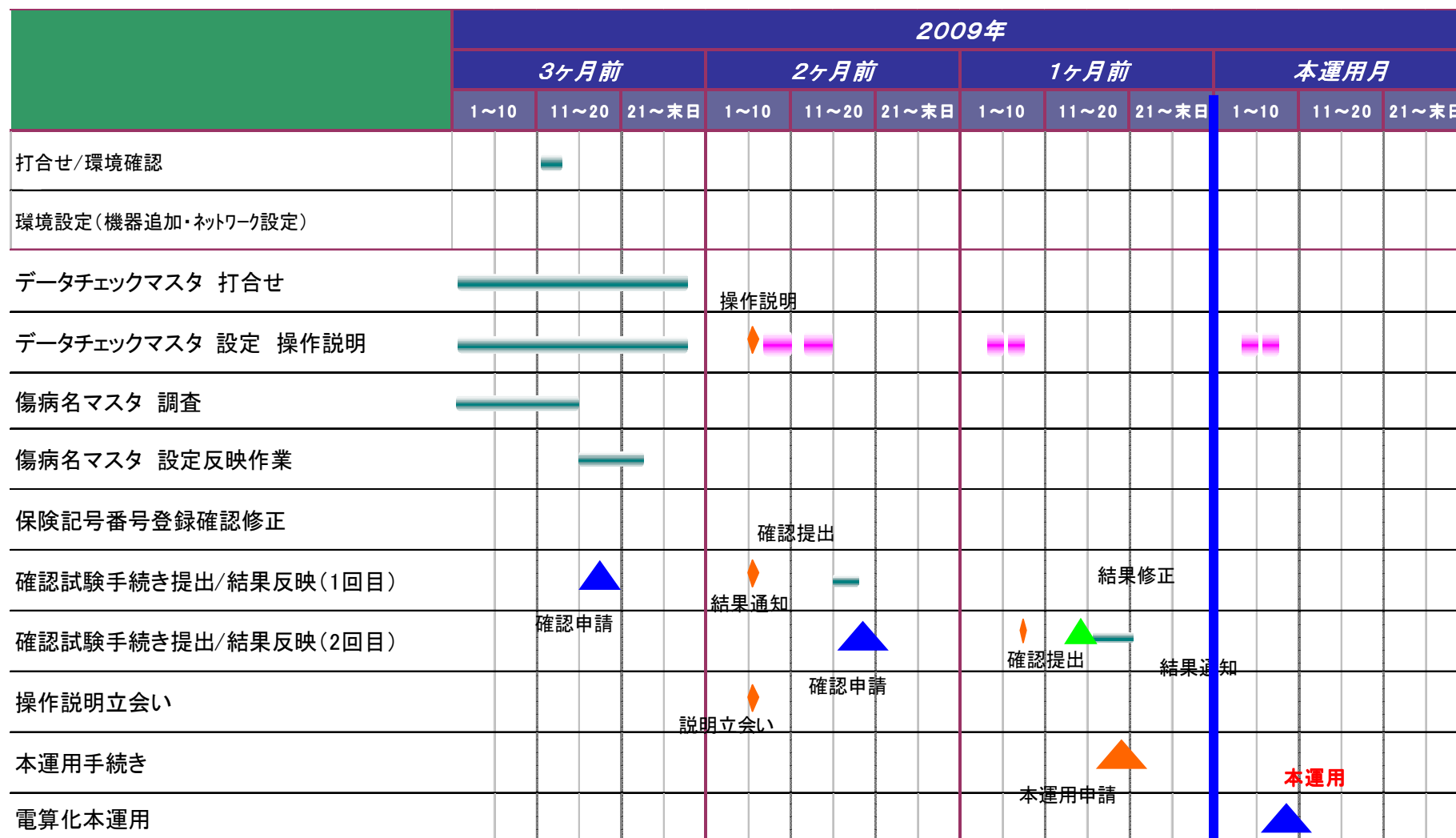
10万円

<オンライン請求支援費用>

- | | | |
|---------|----------|---------|
| ①認定書作成 | ②データチェック | ③認証キー取得 |
| ④スタッフ教習 | ⑤本運用手続き | |

3万円

構築スケジュール(レセプト電算化)



期間 : 2~3ヶ月



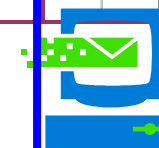
FD

構築スケジュール(オンライン請求)

	2009年											
	3ヶ月前			2ヶ月前			1ヶ月前			本運用月		
	1～10	11～20	21～末日	1～10	11～20	21～末日	1～10	11～20	21～末日	1～10	11～20	
打合せ/環境確認												
環境設定(機器追加・ネットワーク設定)												
データチェックマスタ 打合せ												
データチェックマスタ 設定 操作説明												
傷病名マスタ 調査												
傷病名マスタ 設定反映作業												
オンライン請求手続き												
オンライン請求設定												
オンライン請求接続試験												
オンライン請求本運用												
操作説明立会い												

期間 : 1~2ヶ月

認証
キー



PC操作

説明立会い

本運用

申請

操作説明

＜データ転送＞

- ① ORCAの場合、ボタンをマウスでクリックするだけで転送できるので操作は簡単。

＜返戻処理＞

- ① 返戻対応は紙での提出となり、煩雑である。この点での改善を進めてほしい。

＜代行請求＞

- ① ORCAの場合は、請求用のPCが不要のため、オンライン化へ以降しやすい。
- ② オンライン請求に対応していないレセコンの場合は、レセ電算データを地域医師会にて集めて代行請求する方法などの要望も上がっている。

＜代行入力＞

- ① レセコンを使用していない医療施設への対策として「代行入力」を進める必要がある。この場合の費用負担をどうするかが課題となる。②
- ORCAプロジェクトでは、カルテ3号用紙の裏点を入力する機能を3月にリリースする予定で、代行入力や業務委託に貢献できる。

＜レセ点検＞

- ① 今まで紙レセを目視で点検していたが、PC画面での点検は疲れる。
- ② 対策としてソフトでの対応が必要となる。
- ③ ORCA内でのレセチェック機能はあるが、学習機能を盛り込むにはかなりの開発が必要となる。これはどのレセコンメーカーも同じである。

＜情報提供＞

- ① 先ずレセ電算化への移行を呼びかけている。
- ② 現状では今年中には90%以上のユーザさまで実施が可能になっている。
- ③ 新規に切り替えをするユーザさまには最初から電算化は進めている。

＜移行コスト面＞

- ① ORCAの場合、サポートをオンラインで実施しているため、ハード費用がかからない。
- ② 傷病名の点検をしっかりとっておけばエラー項目は少なく、順調に進むため、金額面でも比較的に安く済んでいる。

＜ORCAの取り組み＞

- ① ORCAでは、手書きレセプト施設に対する方策として、裏点入力の機能を付加する。

＜厚労省の取り組み＞

- ② 厚労省では、手書きで作成したレセプトをデータ化するためのソフト開発を検討している。

医療施設の現状
は国の誘導に間に
合っていない

8,500施設
がキケン

ORCAの役割は
重要で期待も大きい